

にぎわい忍者回廊プロジェクト



成瀬平馬家長屋門

至 上野東IC

目的

にぎわい忍者回廊プロジェクトは、「東京上野恩賜公園と文化施設群」や「京都の南禅寺界隈の近代庭園群」などと同様に、「日本の20世紀遺産20選」に選ばれた伊賀上野城下町の文化的景観の保存や、中心市街地にぎわい創出、アフターコロナ時代の観光戦略などを目的に、公民が一体となって取り組む事業です。

上野公園から城下町エリア（忍者体験施設周辺）を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、市街地における公有財産の有効活用を、*PFI手法を用いたエリアマネジメントの視点で検討し、施設単体ではなく面で包括的に取り組みます。

対象施設・事業

◆特定・必須附帯事業

（事業者が必ず実施する事業）

- 旧上野市庁舎（交流型図書館等）【改修】
- 成瀬平馬家屋敷跡（忍者体験施設）【新設】

◆任意附帯事業

（事業者の提案による事業）

- 旧桃青中学校
- 旧伊賀信楽古陶館
- 伊賀越資料館
- 旧曙保育園（放課後児童クラブ）
- 旧上野公園観光食堂

プライベート ファイナンス イニシアティブ

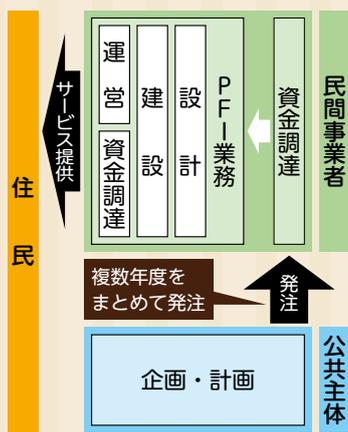
* Private Finance Initiativeの略。

ＰＦＩ手法とは

民間事業者の資金、経営能力や技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設などの設計、建設、改修など維持管理・運営を事業者が一体的に行う手法です。従来、市が直接行ってきた事業を民間事業者に委ねることから、民間に対して新たな事業機会をもたらします。また、事業全体のリスク管理が効率的に行われることで、行政コストの削減や市民サービスの向上が期待できます。

◆特徴・メリット

- ①性能発注：詳細な仕様でなく、求める性能を規定して発注するため、民間ノウハウを最大限生かすことが可能
- ②包括発注：設計、施工、運営、維持管理を包括的に行うことで、コスト縮減、効率アップが可能
- ③長期契約：単年度ではなく長期（今回の場合約20年）契約で、安定的な運営が可能



これまでの取り組み

- ◆市民・地元向け
 - 伊賀市の未来を創造する
図書館ワークショップ
(4月10日、4月21日)
 - 上野商工会議所・中心市街地
活性化協議会への事業説明会
(7月7日)



図書館ワークショップの様子

- 市議会議員向け勉強会
(5月18日、8月2日)



- ◆事業者向け
○事業説明会【オンライン】
(5月17日)

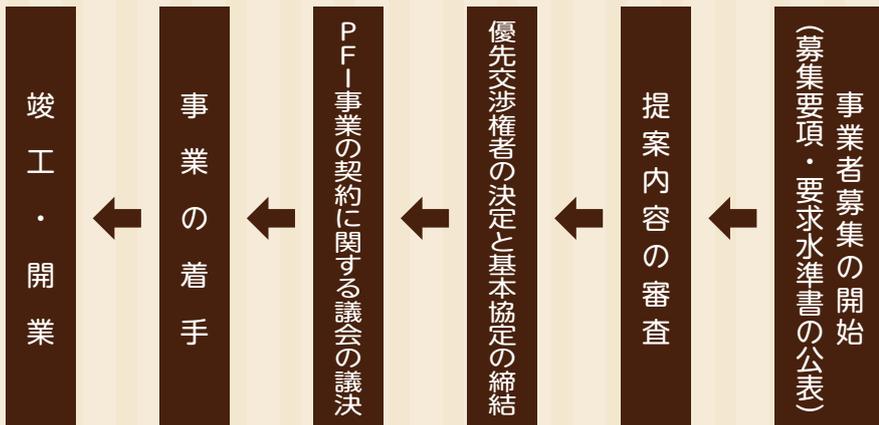
- 現地見学会
(8月6日)



現地見学会の様子



今後のスケジュール



※市議会との協議や民間事業者からの提案状況により、スケジュールは変動するため、具体的な月日は記載していません。



【問い合わせ】

観光戦略課
☎ 22・9670
FAX 22・9695
✉ kankou@city.iga.lg.jp